

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表・放デイ)

公表:平成 31 年 3 月 1 日

事業所名 スタジオそら学芸大学

保護者数(児童数)36名 回収数19 割合 52.7%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	9	3	運動するのにもう少し広ければ良いとは思いますが成長するにつれて狭く感じる3人の利用時は狭く感じる	制限がある中でどのような活動が効果的か都度検討していく。大部屋(運動部屋)と小部屋(机上課題部屋)を活用していく。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	6	0	マンツーマン体制が得られていて良い人員配置は満たしていると思う専門性が分からない 個人差がある	配置数は法令を満たしている。社内・社外の研修に参加し、専門性の向上を図る。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設計などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	8	1	建物構造上、入口がすでに階段のため難しいと思う	建物の構造上、完全なバリアフリーは難しい。引き続き、子どもに分かりやすいスタジオ内部の構造化を進める。
適切な支援の内容	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	17	2	0	計画作成はしっかりされているが、内容に活かされていないことがある	継続して支援の充実化を図る。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16	3	0	柔軟に対応してもらっている	継続して支援の充実化を図る。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	14	特に必要としていない	状況に応じて機会を設定していきたい。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか	15	4	0	丁寧に説明してもらっている何のための課題なのか分からない	継続して支援の充実化を図る。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	16	2	1	保護者の意見を聞いてくれている小集団プログラムの場合はフィードバックが一時的になりがち	継続して支援の充実化を図る。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	10	3	毎回の活動については分かりやすく教えてもらっている出来ないことについてどうしたら良いかの助言が欲しい	フィードバックを行っているが時間が限られているため、面談希望があれば随時行う環境設定をしていく。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	9	9	あるかどうか分からない待合室での交流がある特に必要としていない	昨年、固定化に伴う保護者会を実施した。ニーズが少ないと感じているが、必要に応じて講演等の企画を検討する。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	8	1	特に苦情は言ったことがないので対応がどうなっているかが分からない待合室に説明書きが貼ってある	待合室に案内を掲示している。迅速に対応していく。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	6	1	スペースがないため難しいと感じることはある先生による	フィードバックを行っているが時間が限られているため、面談希望があれば随時行う環境設定をしていく。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	3	0	毎月会報が届いている	継続して支援の充実化を図る
非常時の対応	⑭ 個人情報に十分注意しているか	16	2	1	説明スペースが狭い集団プログラムの押印の際に他の利用者の名前や利用状況外見えてしまったことがあり心配	建物構造上、部屋数が限られているが、都度配慮していく。書類の取り扱いに充分留意する。
	⑮ 緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明しているか	11	8	0	待合室に対応方法が貼ってある	各種マニュアルは、整備の上、保護者スペースに閲覧可能としている。内容の周知を図る。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	0	1	以前参加したことがある訓練時に利用したことがない	法令上、年2回の避難訓練の実施が義務付けられている。(原則利用者全員が参加出来るよう計画しなければならない)実施内容の周知を図り、継続して支援の充実化を図る。
					楽しんで通っている毎回少しずつ出来るが増えていて自	

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	0	信がついている様子 学校での不満を聞いてもらえて良かった様子	継続して支援の充実化を図る。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14	5	0	もう少し専門的な立場からの助言や支援等があると良いと思う 効果が目に見えて分かるように支援して欲しい 運動量をもっと確保して欲しい 子どもが楽しみながら課題を克服出来ているので満足している	面談実施の環境調整を図る。 前回の様子を踏まえた上で、お子様ひとりひとりにあった課題(プログラム)を提供していく。 引き続き、支援の充実化を図る。